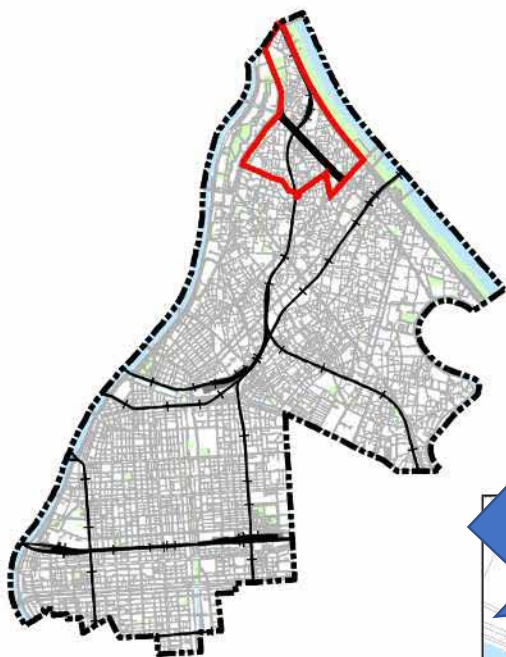


鐘ヶ淵駅周辺地区について

鐘ヶ淵駅周辺地区

【区域】

墨田一丁目の一部
墨田二・三・四・五丁目の全域
東向島五丁目の一部



墨田区



隅田稲荷神社 例大祭



鐘ヶ淵通り



地区内商業施設



鐘ヶ淵駅



多聞寺



鐘ヶ淵駅周辺地区が抱える課題

※令和5年1月のパネル展にて行ったアンケートで意見が多かったものを赤字にしています。

交通分野

【踏切】

- ①開かずの踏切の存在
- ②踏切を中心にした6差路交差点の存在
(交通渋滞・歩行者との錯綜)

【鐘ヶ淵通り（補助第120号線）】

- ③未整備区間における円滑な事業推進
(道路拡幅整備)
- ④歩車分離が未整備の道路による歩行安全性の低下

【交通結節機能】

- ⑤バスやタクシーなどへの乗換利便性の低さ
- ⑥駅周辺における放置自転車

【交通体系】

- ⑦バリアフリーに配慮した道路整備
- ⑧緊急車両が円滑に目的地に到達するまでの道路の未整備

まちづくり分野

【駅周辺】

- ①東武伊勢崎線による市街地の分断
- ②駅周辺の生活サービス機能（医療、商業、福祉）の不足
- ③駅周辺の低未利用地（駐車場・駐輪場など）の存在
- ④交通渋滞や交通錯綜による沿道商店街の商業・買物環境の低下

【鐘ヶ淵通り沿道】

- ⑤鐘ヶ淵通り（補助第120号線）の整備に伴うまちづくり

【住宅地】

- ⑥住工の共存に配慮したまちづくり
- ⑦狭小敷地及び老朽木造住宅による災害に脆弱な市街地

【まちづくり】

- ⑧若年世帯、ファミリー世帯の減少
- ⑨高齢化の進行

防災分野

【困難な消防活動】

- ①緊急車両が通行する道路の未整備
- ②消防活動困難区域の存在
- ③道路に接していない敷地が多い

【密集した市街地】

- ⑦老朽木造建築物が多い
- ⑧多数の4m未満の道路、行き止まり道路の存在
- ⑨延焼遮断帯の未形成

【避難場所】

- ④避難場所の不足
- ⑤公園・オープンスペースの不足
- ⑥鉄道により地域が東西に分断
(避難時に支障)

【水害対策】

- ⑩河川氾濫時における防災・減災

まちの声（ヒアリング）

【商業】

- ①商業が衰退している
商業施設の数が少なく買物が不便
- ②飲食店や喫茶店等のコミュニティの場が不足している
- ③鐘ヶ淵通り(補助第120号線)拡幅後の沿道の利用がされていない

【公共施設】

- ⑥地域のコミュニティ施設が不足している
- ⑦子どもが遊ぶことのできるような中規模の公園が不足している

【防災】

- ④防災対策の推進
- ⑤危機管理体制の構築

【交通】

- ⑧地区内の道路が狭い
- ⑨東西、南北方向に横断できる道路がない
- ⑩駅での乗り換えがしづらい

鐘ヶ淵駅周辺地区まちづくり計画（改定に向け検討中！）

鐘ヶ淵駅周辺地区まちづくり計画(H28.6)

【目的】

鐘ヶ淵駅周辺地区まちづくり計画は、「墨田区都市計画マスタープラン」等の上位計画を踏まえ、本地区のまちづくりに取り組んでいく基本的な方針などを位置づける行政計画です。

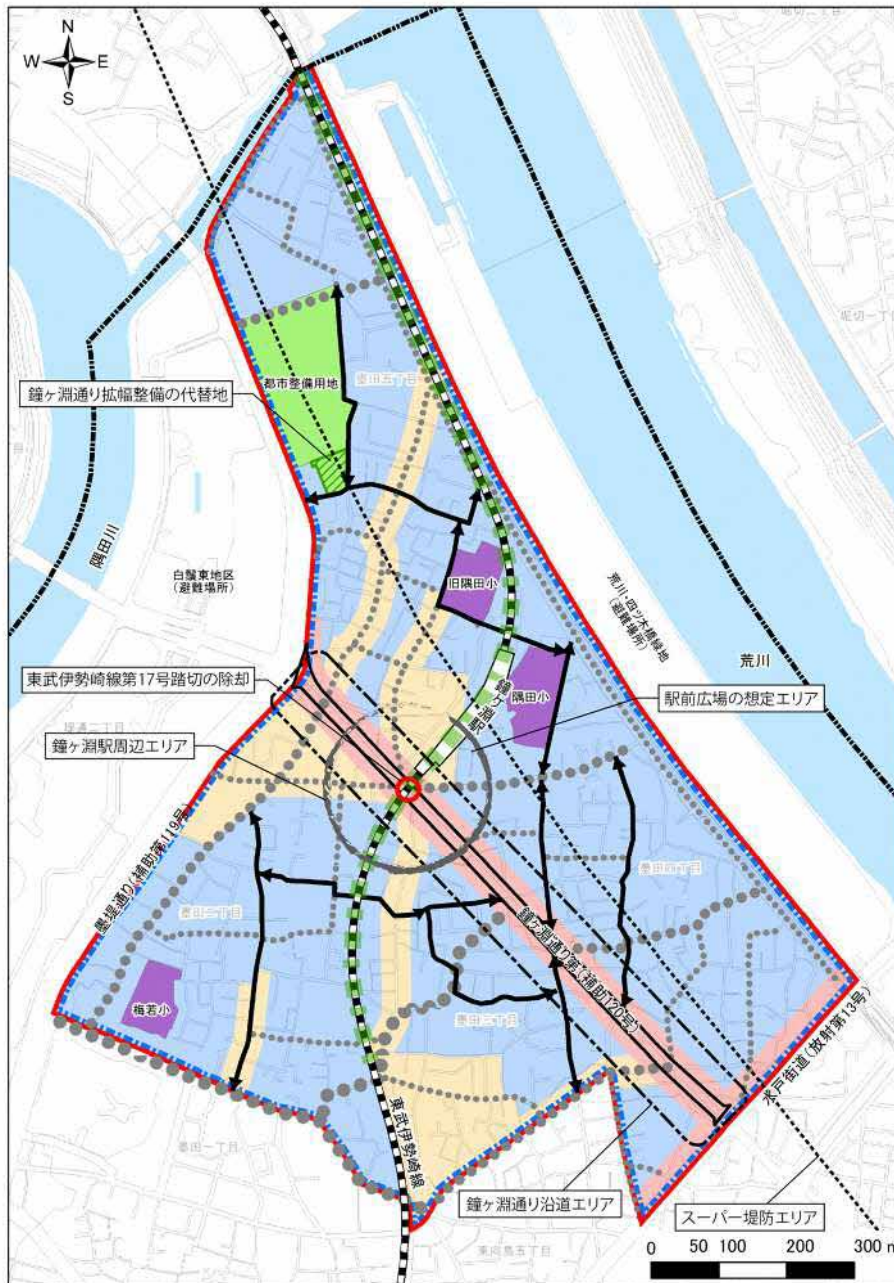
まちづくりを総合的かつ一体的に進め、鉄道立体化を早期に実現するために、平成28年6月に「鐘ヶ淵駅周辺地区まちづくり計画」を策定しました。

【将来像】

いつまでも住み続けられ、多世代が交流する
生活界わい・鐘ヶ淵

【まちづくりの方針図】

まちづくりの方針をもとに、地区の将来の方針図を示しています。



詳しくはコチラ

●鐘ヶ淵駅周辺地区
まちづくり計画



鐘ヶ淵駅周辺地区まちづくり計画改定の方向性

鐘ヶ淵駅周辺地区まちづくり計画の策定から5年以上が経過し、東武伊勢崎線鐘ヶ淵駅付近が鉄道立体化の「事業候補区間」へ位置づけられたことや、区の各種関連計画が改定されたことを踏まえ、令和6年度にまちづくり計画の改定を行います。

前回のパネル展で挙がったご意見や、今年度実施したアンケートやワークショップ結果をもとに、まちづくり計画の検討を進めています。

令和5年1月のパネル展でのアンケート調査結果



パネル①を参照

鐘ヶ淵駅周辺地区のまちづくりアンケート(小学生アンケート)

来週「学校」 鐘ヶ淵駅周辺地区のまちづくりアンケートを実施します

【調査の趣旨】
鐘ヶ淵駅周辺地区のまちづくり計画の策定から5年以上が経過し、東武伊勢崎線鐘ヶ淵駅付近が鉄道立体化の「事業候補区間」へ位置づけられたことや、区の各種関連計画が改定されたことを踏まえ、令和6年度にまちづくり計画の改定を行います。この改定にあたっては、地域の皆さまからのご意見を伺い、まちづくり計画の改定に活かしたいと思います。



パネル③を参照

鐘ヶ淵の将来像を考えるワークショップ「考えよう！カネガフューチャー」



【ワークショップとは】
地域の皆さまからのご意見を伺い、まちづくり計画の改定に活かしたいと思います。このワークショップでは、地域の皆さまからのご意見を伺い、まちづくり計画の改定に活かしたいと思います。

パネル④⑤を参照

※新しい将来像のイメージ

鐘ヶ淵でよかった！
～古いと新しいが交差する 安心・安全・すこやかなまち～



他地区に誇れる鐘ヶ淵の自慢づくりにつながる方針を検討します

- 例：・駅を中心とした地域の顔（核）となる空間づくり
- ・駅周辺を中心としたにぎわいづくり
- ・駅周辺を中心とした交通ネットワークづくり
- ・若年層やファミリー層に居住地として選ばれる環境づくり
- ・鐘ヶ淵の魅力を高める組織づくり

みなさまのご意見を頂きたいと考えています。
よろしくお願いたします！
パネル⑥を参照

鐘ヶ淵駅周辺地区のまちづくりアンケート（小学生アンケート）

【まちづくりアンケートの実施概要】

鐘ヶ淵駅周辺地区まちづくり計画の改定に向け、幅広い世代の方からご意見をいただきたい考えから、地区内の小学校に通う児童のみなさまを対象に、将来のまちについてのアンケート調査を実施しました。

目的	地区の長期的なまちづくりの方針である、「鐘ヶ淵駅周辺地区まちづくり計画」の改定に向け、幅広い世代の方からご意見をいただき、「まちの将来像」をまとめ、計画に反映するため
実施機関	墨田区 都市計画部 密集市街地整備推進課
実施対象	隅田小学校・梅若小学校の4・5・6年生
実施日	令和5年7月



1. 回答者について

○ あなたの小学校



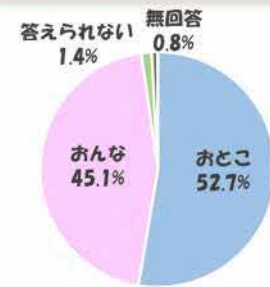
隅田小学校の方が少し多い

○ あなたの学年



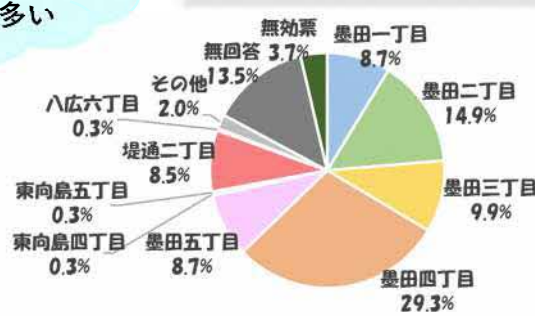
6年生の回答が一番多く、5年生の回答が少ない

○ あなたの性別



おとこの子の方が少し多い

○ あなたの住んでいるところ

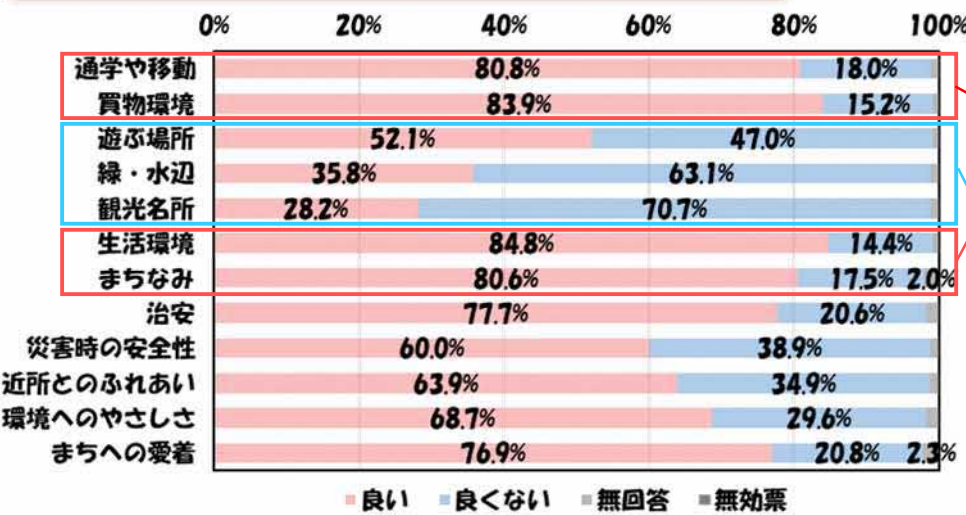


鐘ヶ淵駅周辺地区に通う児童が約7割

※回答者数：355名
(隅田小：193名 梅若小：162名)

2. 住んでいるまちの「いま」について

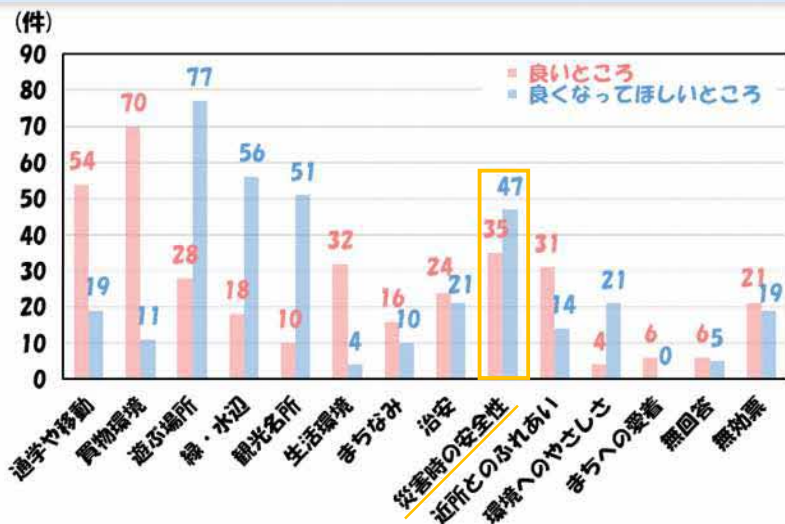
○ 住んでいるまちについてどう思いますか？



8割以上の児童が、「通学や移動」、「買物環境」、「生活環境」、「まちなみ」が「良い」と回答している

他の選択肢と比べ、「観光名所」、「緑・水辺」、「遊ぶ場所」を「良くない」と回答している児童が多い

○ 住んでいるまちで特に「良いところ」と「良くなってほしいところ」はどこですか？



特に「良いところ」
1 番目：買物がしやすい
2 番目：通学や移動がしやすい
3 番目：災害時の安全性が高い

特に「良くなってほしいところ」
1 番目：遊ぶ場所が少ない
2 番目：緑や水辺が少ない
3 番目：観光名所が少ない

災害時の安全性は、「良いところ」の3番目ですが「良くなってほしい」と思っている児童の方が多

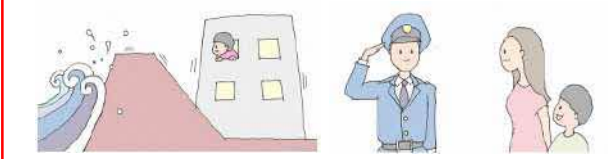
3. 住んでいるまちの「将来」について

○ 将来、どんなまちになってほしいですか？

※1番目を3点、2番目を2点、3番目を1点として、得点制で集計

項目	0	100	200	300	400 (点)
1 お店にぎわうまち	57	32	13	102	
2 イベントにぎわうまち	42	30	13	85	
3 緑や水辺が豊かなまち	114	60	24	198	
4 環境にやさしいまち	60	46	33	139	
5 遊びや学びの場がたくさんあるまち	132	60	26	218	
6 色々な活動ができるまち	21	18	11	50	
7 お年寄りや赤ちゃんにやさしいまち	66	52	27	145	
8 まちの人たちのふれあいがあるまち	15	18	17	50	
9 犯罪が少ないまち	183	134	46	363	
10 災害に強いまち	222	126	53	401	
11 電車やバスが便利なまち	39	28	23	90	
12 道路や建物がきれいに整備されたまち	30	44	23	97	
13 昔の建物や歴史が残っているまち	15	24	14	53	
14 今のまちなみがずっと残っているまち	42	16	21	79	
15 無回答	27	20	11	58	

将来望むまちの姿は、「⑩災害に強いまち」と「⑨犯罪が少ないまち」が群を抜いて多い



「⑤遊びや学びの場がたくさんあるまち」や「③緑や水辺が豊かなまち」も、多くの児童が望んでいる



○ 将来のまちの姿が実現した時、住みたいと思いますか？



住みたいと思う児童が7割以上！



鐘ヶ淵の将来像を考えるワークショップ 「考えよう！カネガフューチャー」 ①

【開催概要】

■ワークショップの目的

「まちの将来像（テーマ・シンボル・合言葉）」についてみなさまと話し合い、いただいたご意見を改定するまちづくり計画に反映すること

【第1回ワークショップ】 実施日：令和5年9月23日（土・祝） 参加者：13名

まちづくり分野を「にぎわい / かつどう / こうつう / あんぜん / うるおい / らしさ」の6つに分類し、各分野における鐘ヶ淵の課題や魅力について、みなさまから意見をいただきました。主な意見は以下の通りです。



■にぎわい

- ・買い物する場所が限られる
- ・立ち寄りたくなる個人店が消えてきた
- ・高学年の遊び場がない
- ・子ども、高齢者に対しての施設、遊び場があるとよい



■かつどう

- ・地域のイベントを開催してほしい
- ・町内活動は活発だが、参加者が限定されている
- ・都内では暮らしやすい住環境 大学生を引き込みたい



■こうつう

- ・踏切を広く安全に（高架化）
- ・鉄道会社等との協力体制強化
- ・歩行者だけでも安全に通れる道にしてほしい
- ・他の区に行く場合、電車の利便性が以前よりとても良い



■あんぜん

- ・避難路を道路に表示するとよい
- ・0m地帯が不安。防災対策が必要
- ・町内会と警察によって、治安は守られている



■うるおい

- ・公園での遊び方が限定されている
- ・まちの中に子どもが遊んでいない
- ・鐘ヶ淵通りの街路樹に期待したい
- ・フラッと遊べる場がほしい（河川敷とか）



■らしさ

- ・墨田区で一番古い町。寺や神社、教会それぞれに歴史がある
- ・歴史に触れる機会はない
- ・シンボルとなる場所や、拠りどころがない



【第2回ワークショップ】 実施日：令和5年11月11日（土） 参加者：12名

第1回ワークショップの内容や結果をふりかえり、まちの将来像につながるキャッチコピーを考えました。

■ 1班 みんなが明るくつながり、安心で、すみよい鐘ヶ淵

【ねがい】
鐘ヶ淵は暮らしやすいまちであることから、“スローライフ”という言葉を中心に、暮らしに必要な便利さや安全のあるまちを目指すとともに、**日々の暮らしが楽しくなる**商店やイベント、公園などを整備することで、周りに自慢できる鐘ヶ淵になってほしい。

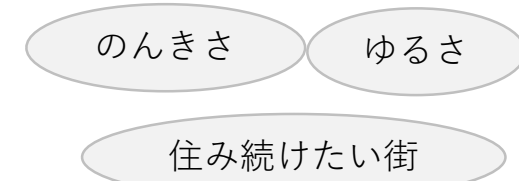
■ 2班 健やかに住みたい下町

【ねがい】
鐘ヶ淵の魅力は暮らしやすい下町であるという点であり、ここを生き、伸ばしながらにぎわいづくり・交通の安全、快適性確保、災害対策を進めたい。また、「**住み続けられる**」よりも「**住みたい**」と**感じる**ことが重要で、かつ子どもや中高生の集まる公園の不足、荒川河川敷の活用といった健康につながる場づくりへの思いが、「健」というキーワードにある。

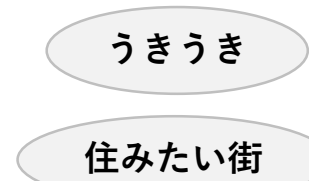
■ 3班 多世代ゆるく 一番古く新しい思い出の街カネガフチ

【ねがい】
鐘ヶ淵の、独特のゆるさ・のんきさを、一番古くて、かつ新しいすみだとして残したい。将来、**カネガフチでよかったな**と思えるような、鐘ヶ淵の歴史とこれからの鐘ヶ淵を活かしたまちづくりが必要。具体的な取組として、子育て世代や高齢者が交流できる場（交流拠点や河川敷）や、それらをつなぐ空間の整備が挙げられる。

◆暮らしのイメージ 守り続けたいもの



目指すべき未来

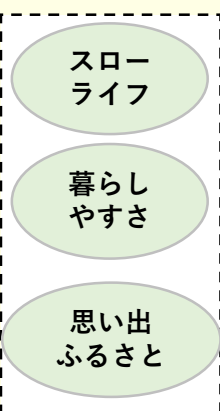


◆未来に向けたテーマと、実現のための取組

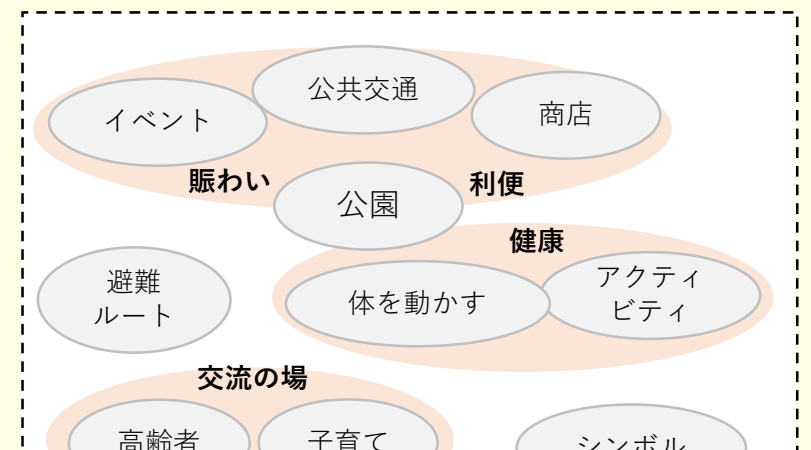
メインテーマ



サブテーマ



未来に向けた取組



鐘ヶ淵の将来像を考えるワークショップ 「考えよう！カネガフューチャー」② 当日の様子と第二回の成果

1 班成果

みんなが明るく → ながり、安心で暮らし、鐘ヶ淵

2023.11.11

■ 第1回の様子



■ 第2回の様子



2 班成果

健康やかに住みたい 下町

2023.11.11

3 班成果

2023.11.11

鐘ヶ淵駅周辺地区の将来像及び自慢づくり戦略

新しいまちづくり計画では、地区の将来像実現に向け、住民のみなさまが、他地区に誇れる鐘ヶ淵の自慢づくりにつながる方針を検討しています。

区が、令和5年度に実施してきた検討をもとに、現時点で考えられる方向性を『自慢づくり戦略』としてまとめました。

内容をご覧いただき、ぜひご意見を頂きますようお願いいたします。

鐘ヶ淵駅周辺地区の将来像(案)

鐘ヶ淵でよかった！

～古いと新しいが交差する安心・安全・すこやかなまち～

【戦略1】 駅を中心とした地域の顔（核）となる空間づくり

■背景

アンケートやワークショップの意見では、地域のシンボルや拠り所がないとの意見が挙がっています。

■考えられる戦略

- ・連続立体交差事業・駅前広場の整備等に併せ、地区の**新たなランドマークとなる空間**を創出し、本地区の顔となる空間づくり
- ・**駅舎のデザイン**に住民の声を反映させ、地域に愛される空間づくり



出典：駅まちデザインの手引き(国土交通省)
駅・駅前広場と周辺市街地が連携したまちづくりのイメージ

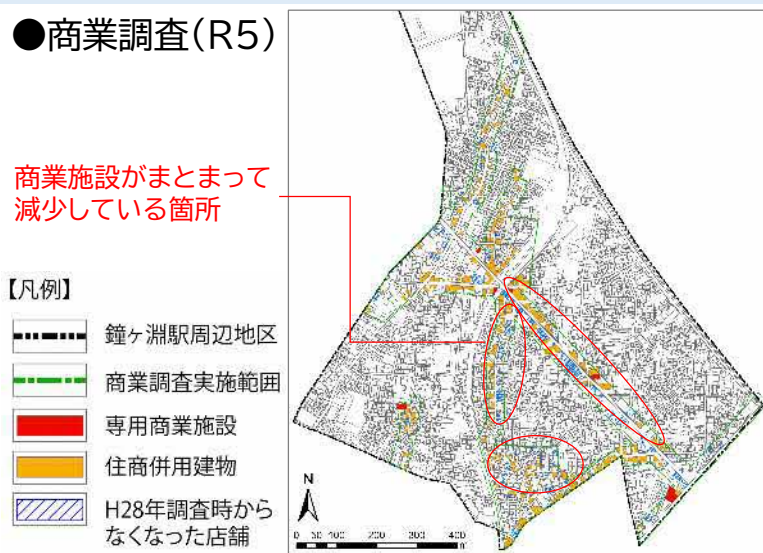
【戦略2】 駅周辺を中心としたにぎわいづくり

■背景

地区内の商業地区・近隣商業地区では、平成28年から令和5年にかけて、駅から離れた店舗や鐘ヶ淵通り(補助第120号線)沿道を中心に、商業施設が減少しています。(右図)

■考えられる戦略

- ・次のような多様な機会を捉え、駅を中心とした**にぎわい機能の集積**
- ・駅周辺における建物の更新
- ・事業に伴い新たに創出される空間
- ・空き家となった建物



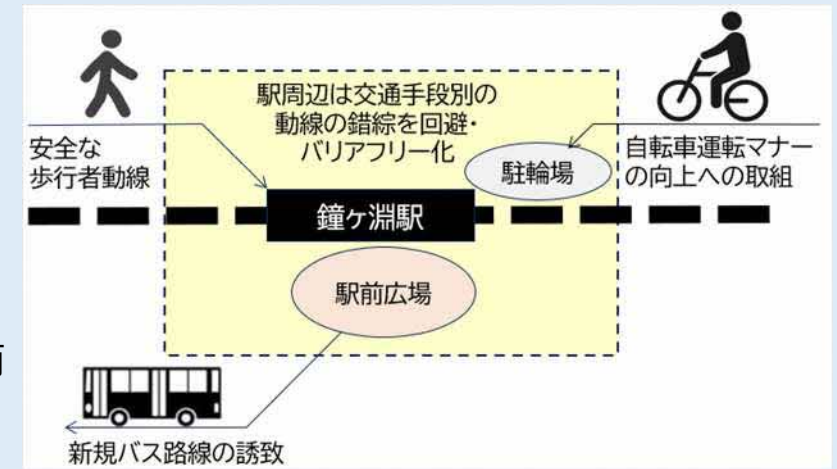
【戦略3】 駅周辺を中心とした交通ネットワークづくり

■背景

連続立体交差事業・鐘ヶ淵通り(補助第120号線)の整備による交通環境の向上が期待されています。

■考えられる戦略

- ・事業に合わせ次のような取組を展開
- ・**新たなバス路線**の誘致
- ・駅周辺における**駐輪場の確保**
- ・歩行者・自転車・自動車のハード・ソフト両面からの**安全な移動環境の形成**
- ・高齢者が移動しやすい**バリアフリー化された歩行空間**の形成



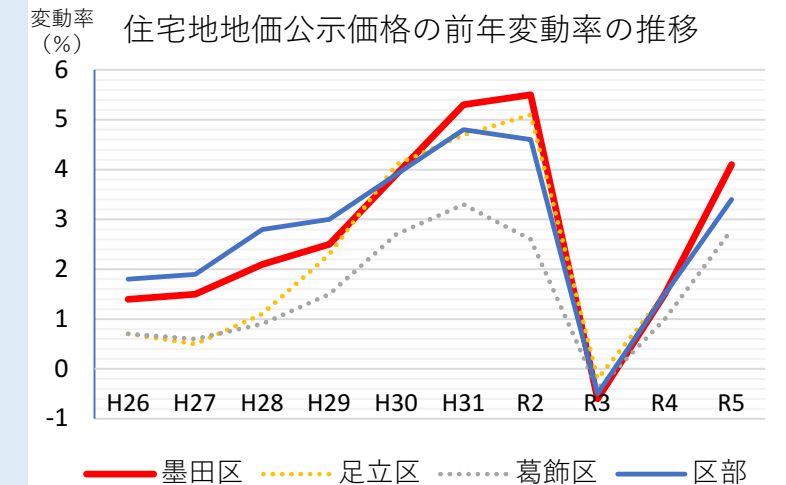
【戦略4】 若年層やファミリー層に居住地として選ばれる環境づくり

■背景

墨田区の住宅地は、この5年間の地価公示価格の変動率が区部平均を上回ってきており、住宅地としての魅力が高まっていることが伺えます。

■考えられる戦略

- ・取り巻く環境の変化を捉え、更なる人口増に向け、次のような取組を展開
- ・事業やマンション等の開発に併せた**子育て支援施設や公園等の整備**
- ・**空き家の活用促進**による住環境向上・人口の受け皿確保



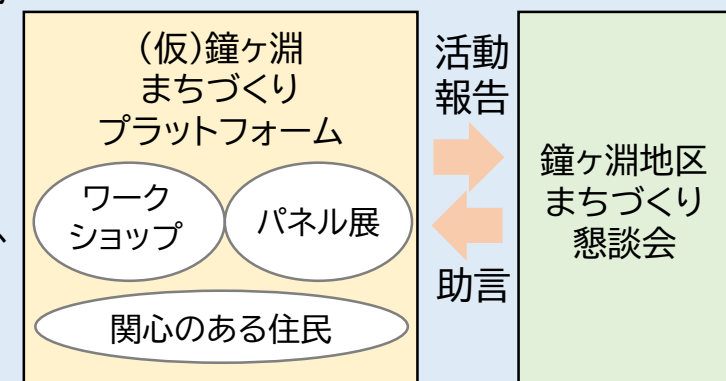
【戦略5】 鐘ヶ淵の魅力をもつ組織づくり

■背景

区は、パネル展やワークショップなどの地域住民の方々との意見交換を行い、本地区のまちづくりに想いを持つ多くの方々と出会えました。

■考えられる戦略

- ・この機会を計画改定に留めず、計画実現においても繋げていくため、新たな参加者を募りながら、**地域全体で検討する組織づくり**を進めます。
- ・まずは、地域の方々の関心の高い「**水害対策**」から議論をはじめていきたいと考えています。



鐘ヶ淵駅周辺地区 交通ネットワーク構想①

交通ネットワーク構想とは

鐘ヶ淵駅周辺地区交通ネットワーク構想は、鐘ヶ淵駅周辺地区まちづくり計画の内容を踏まえ、本地区の交通面の現状や課題を解消するために、**駅前広場や側道、地区内の道路による交通ネットワークの形成の考え方を示すもの**です。

地区内交通の基本方針

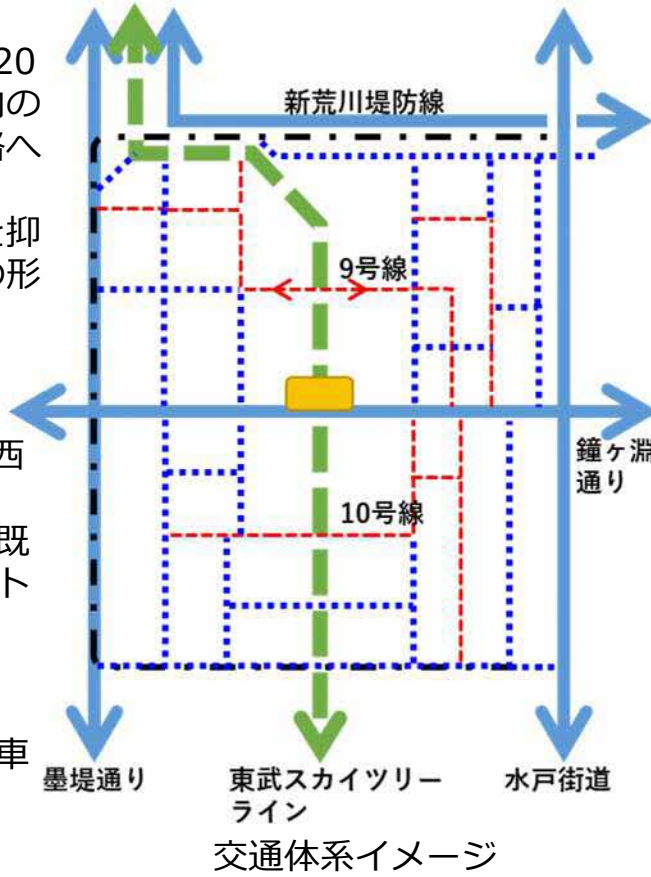
【地区内交通の考え方】

地区外周の幹線道路と鐘ヶ淵通り（補助第120号線）を骨格とし、鉄道で区切られたエリア内の交通を、側道と主要生活道路によって幹線道路へ連絡します。

それにより、生活道路への通過交通の流入を抑えつつ、安全に通行できる交通ネットワークの形成を目指します。

【地区内交通の方針】

- 優先整備路線9号線及び10号線など鉄道東西を通行できる経路確保の検討
- 鉄道立体化に伴う側道及び優先整備路線と既存道路による安全で円滑な地区内交通ネットワークの形成（幅員6m以上の道路ネットワーク）
- 地区内の通過交通を抑制
- 駅利用者等の利便性・安全性を考慮し自転車駐車場の整備を検討

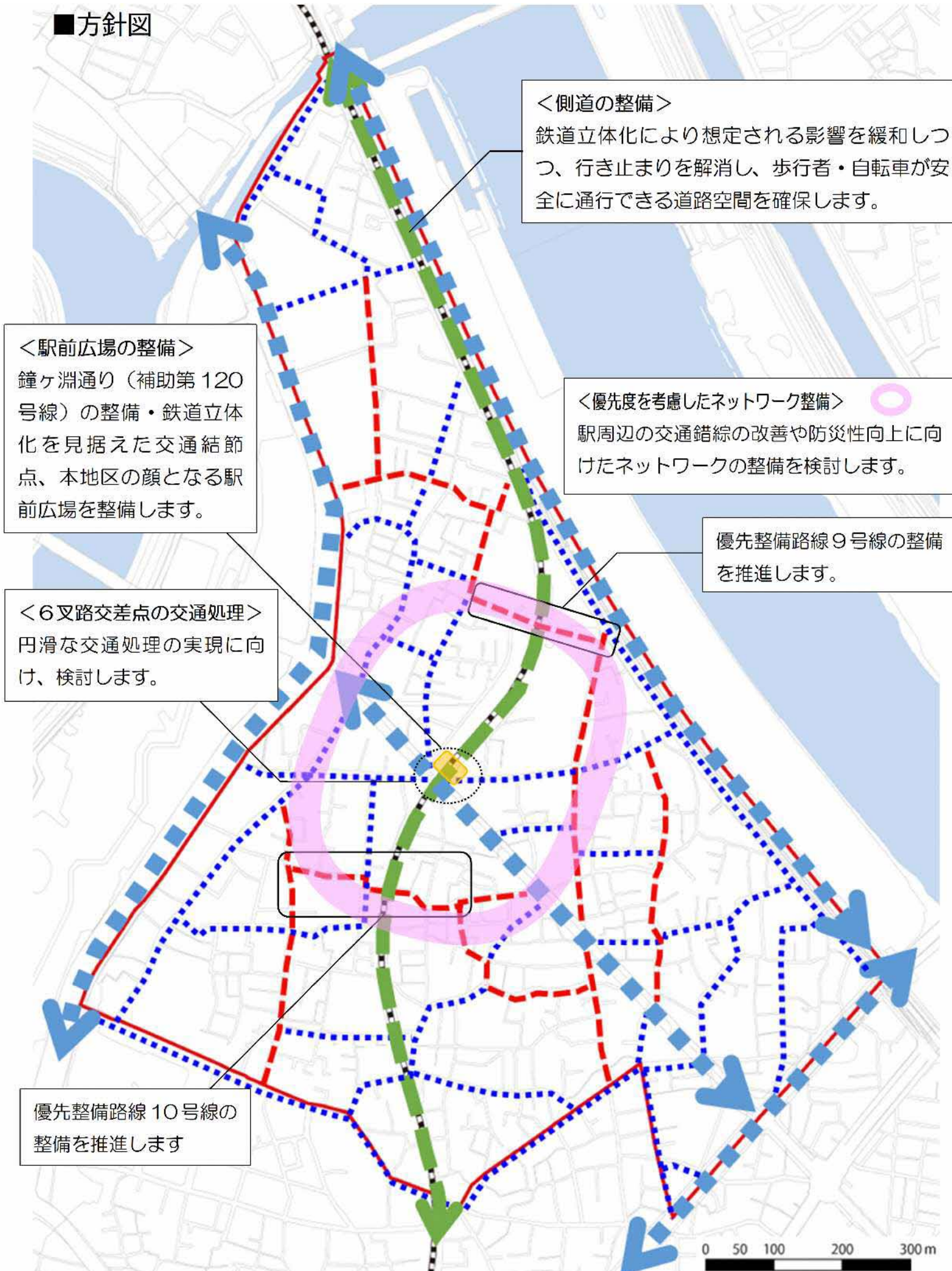


交通ネットワークの方針

方針図に示す地区内交通ネットワークの形成を推進します。

	幹線道路 （墨堤通り、水戸街道、鐘ヶ淵通り（補助第120号線）、新荒川堤防線） 都市拠点間・区内拠点間を結ぶ交通の軸
	東武伊勢崎線に係る側道 鉄道立体化の推進、鉄道立体化に併せた側道整備による地区内南北交通の軸を形成 側道は鉄道立体化の検討状況を踏まえ、駅周辺のにぎわいづくりと両輪で位置・規模を検討
	優先整備路線等 幅員6m以上の道路を確保する路線で、地区内の日常的な交通の主要動線
	主要生活道路等 幅員6m程度の道路を確保する路線で、歩車共存の動線

■方針図

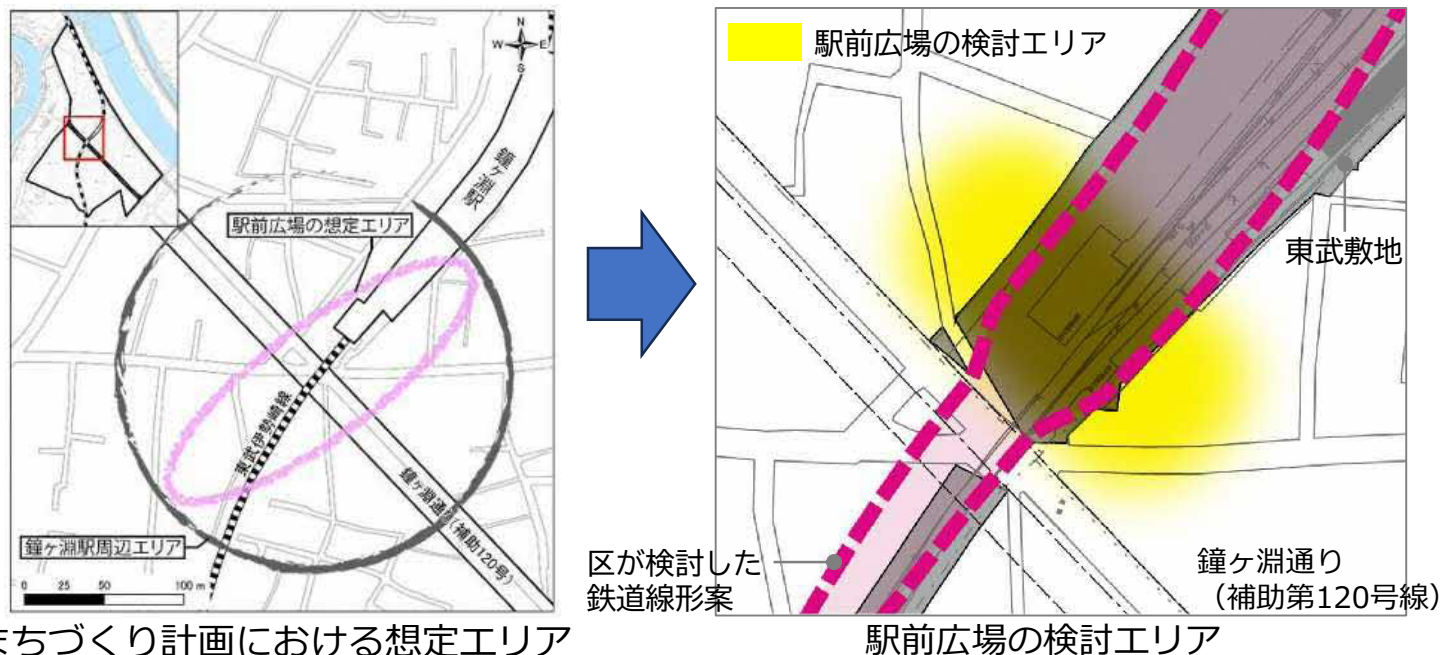


駅前広場の基本方針

【駅前広場整備の考え方】

駅前広場は、今後の高齢化や交通弱者、ベビーカー等の多様な歩行者による利用を見据えた公共交通の利便性向上や、鉄道立体化・鐘ヶ淵通り（補助第120号線）整備とあわせてまちの顔の形成のため整備することとします。

駅前広場は、鐘ヶ淵駅周辺地区まちづくり計画で示した『駅前広場の想定エリア』の内、鐘ヶ淵通り（補助第120号線）北側で整備に向けた検討を行います。



まちづくり計画における想定エリア

駅前広場の検討エリア

【駅前広場整備の基本方針】

■ 交通結節点の形成

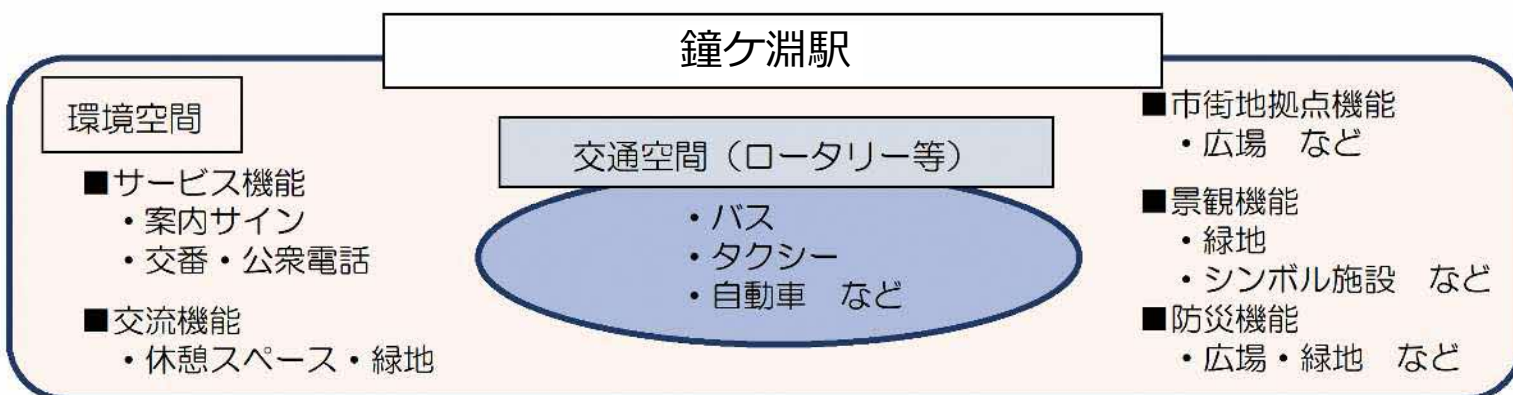
- 乗り換え利便性向上のためのロータリーの設置（将来の鐘ヶ淵駅の利用者数やにぎわいづくりの観点から必要な規模・施設を想定します）
- 十分な歩行空間の確保による、駅と駅前広場、鐘ヶ淵通り（補助第120号線）をつなぐ安全な歩行者動線の形成

■ 駅とまちの一体的な整備・活用による広場機能の形成

- 駅と隣接敷地・施設の機能連携と連続性の創出
- まちと一体感があり、使いやすくにぎわいを感じる空間の創出
- まちの顔としてふさわしい景観形成
- 各種情報・公共サービス機能の提供
- 災害時の一時的な避難場所の形成

■ 人にやさしい安全で快適な空間づくり

- バリアフリーによる円滑な移動の確保



側道の基本方針

【側道の基本方針】

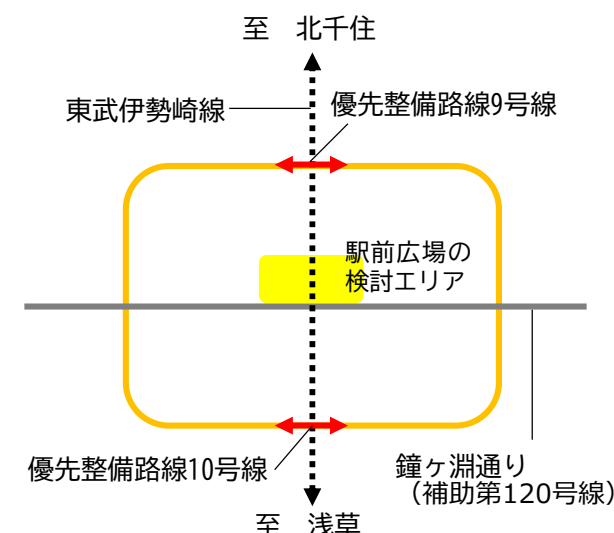
鐘ヶ淵通り（補助第120号線）と区内を結ぶ南北の交通動線を確保するため、以下に示す考え方で側道を整備し、交通ネットワークを形成します。

- 鉄道立体化により想定される影響を緩和しつつ、行き止まりを解消し、歩行者・自転車が安全に通行できる道路空間の確保
- 鉄道立体化の計画を踏まえ、側道の線形・位置・規模等を決定
- 既存道路及び優先整備路線と連携し、本地区の南北を結ぶ交通動線として位置づけ

交通錯綜改善の基本方針

【交通錯綜改善の基本方針】

- 駅前広場アプローチ道路と鐘ヶ淵通り（補助第120号線）の交差点部分に右折帯を有する信号交差点を検討
- 歩行者・自転車交通と自動車交通とを明確に分けた側道の配置を検討
- 鐘ヶ淵通り（補助第120号線）へ接続する既存道路の付け替えを検討
- 鐘ヶ淵通り（補助第120号線）を挟んで南北に自転車駐車場の整備を検討
- 駅を中心とした放射状道路については、優先度を考慮しネットワークの整備を検討



■ 駅前広場・路線バスに関するアンケート

※お手元の用紙に回答をご記入の上、お帰りの際に係員にお渡しください

Q.1 駅前広場について

駅前広場が整備された際、乗換以外にどのような機能・施設等があると良いと思いますか？

【駅前広場整備の基本方針】を参考にしながら、お考えにあてはまるもの**3つ（1位～3位）**を、お選びください。

（選択肢）

- | | |
|--------------------|----------|
| 1 案内サイン | 2 交番 |
| 3 公衆電話 | 4 休憩スペース |
| 5 広場・緑地 | 6 植栽・花壇 |
| 7 シンボル施設（モニュメントなど） | |
| 8 その他（自由記入） | |

Q.2 路線バスについて

現在、鐘ヶ淵駅前には区内循環バスが運行していますが、路線バスが運行した場合、どこへ向かうためのバスがあると便利ですか？お考えにあてはまるもの**3つ（1位～3位）**を、お選びください。

（選択肢）

- | | |
|------------------|----------|
| 1 荒川区方面 | 2 足立区方面 |
| 3 葛飾区方面 | 4 江戸川区方面 |
| 5 江東区方面 | 6 中央区方面 |
| 7 台東区方面 | |
| 8 その他（自由記入・バス不要） | |

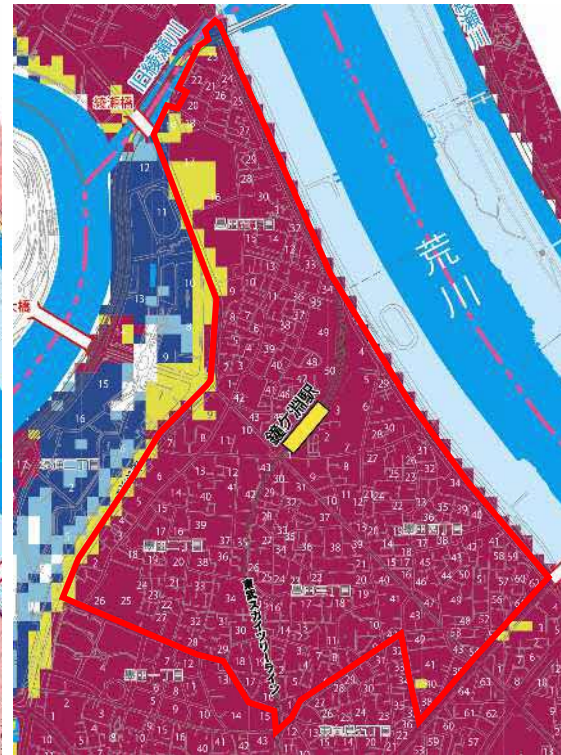
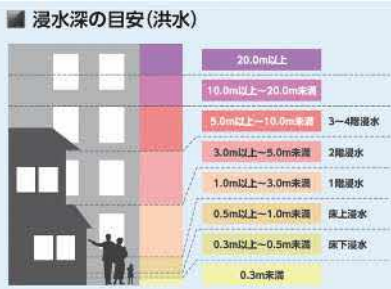
鐘ヶ淵駅周辺地区と水害対策

鐘ヶ淵駅周辺地区の現況と課題

鐘ヶ淵駅周辺地区において荒川が氾濫した場合、洪水浸水想定区域をみると、地区の全域で3.0m以上の洪水浸水が想定されており、浸水継続時間は2週間以上と想定されています。

■洪水浸水想定区域(浸水深)

■洪水浸水想定区域(継続時間)



出典：墨田区水害ハザードマップ (R4.3)

<課題>

- 鐘ヶ淵駅周辺地区は、海面水位よりも低い「ゼロメートル」地帯が広がる
- 「早期の立退き避難が必要な区域」が地区の広範囲を占めている
- 治水施設等の整備は発展途上であるが、気候変動により降雨量・洪水流量は増大
- 堤防が決壊すると広範囲で浸水し2週間以上も継続
- 高層階に避難したとしても、水道・電気・ガス・トイレが使えない状況が続く可能性
- 事前に広域避難を実施する必要があるが、公共交通の計画運休等により避難ができない可能性

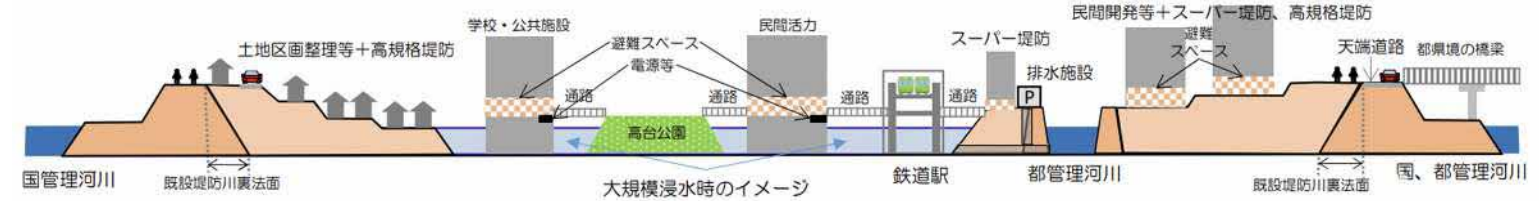
近年の取組の方向性

大規模災害による壊滅的な被害の発生を回避できるよう、防災まちづくりを強力に推進するために、国や東京都、荒川・江戸川沿川の区等で構成される「高台まちづくり推進方策検討ワーキンググループ」が設置され、以下のような方向性が検討されています。

- 建築物の上層階での避難スペースの確保、公園の高台化、高規格堤防の整備等により高台の拠点を確保
- 高台の拠点を想定される浸水深よりも高い位置にある道路や通路等で線的・面的につなぐ
- これらにより、命の安全・最低限の避難生活水準を確保し、浸水区域外への避難を可能とする「高台まちづくり」を推進
- 「高台まちづくり」は、災害時だけでなく平時においても地域のにぎわい空間として機能を発揮
- 気候変動等を踏まえ治水施設等の整備を加速化
- 高台まちづくりや排水対策により、広域避難（垂直避難の活用を含む）の実効性を向上

参考：高台まちづくり推進方策検討ワーキンググループ

高台まちづくりのイメージ



建築物等(建物群)による高台まちづくり

平常時：賑わいのある駅前空間
浸水時：避難スペースを有する建築物とペDESTリアンデッキ等をつないだ建物群により命の安全・最低限の避難生活水準を確保



高台公園を中心とした高台まちづくり

平常時：河川沿いの高台公園
浸水時：緊急的な避難場所や救出救助等の活動拠点として機能。道路や建築物等を通じて浸水区域外への移動も可能



高規格堤防の上面を活用した高台まちづくり

平常時：良好な都市空間・住環境を形成
浸水時：緊急的な避難場所や救出救助等の活動拠点として機能。浸水しない連続盛土等を通じて浸水区域外への移動も可能



出典：高台まちづくり推進方策検討ワーキンググループ

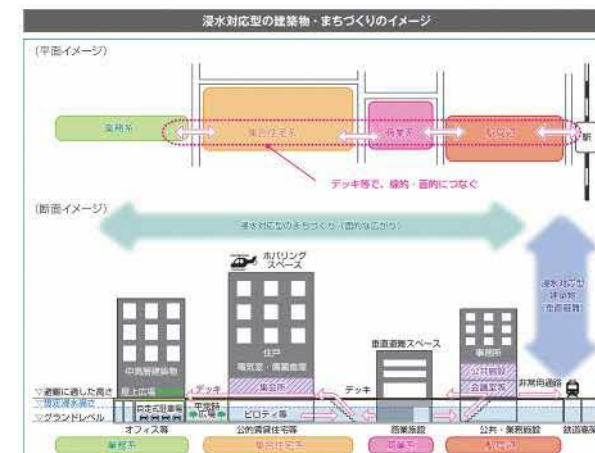
周辺自治体の検討状況

■“浸水対応型まちづくり”の促進(江東区)

「江東区 都市区計画マスタープラン (R4.3)」では、重点戦略として、個別の浸水対応型建築物をデッキ等をつなぎ、線的・面的に広げていく“浸水対応型のまちづくり”を促進しています。

■小中学校の建て替えによる浸水対応型拠点建築物化(葛飾区)

建て替えが進められる小中学校において、安全な退避空間を有し、非常用発電機等の生活支援機能が設けられた浸水対応型拠点建築物化の検討が進められています。



水害対策に関する勉強会を開催します！

大規模な洪水浸水被害が想定される鐘ヶ淵駅周辺地区においても、安全・安心なまちづくりを推進するため、水害に対する知見を広げる勉強会を開催いたします。
勉強会では、各地で進められている水害対策の事例を紹介しつつ、地域の皆様とともに、地区に合った水害対策の方向性について議論したいと考えております。区のホームページや案内チラシ等でご案内いたしますので、ご参加いただけますと幸いです！

公共用地の活用に関するアンケート

Q.3 旧隅田小学校跡地の活用について

旧隅田小学校跡地は、将来どのように活用されると良いと思いますか。お考えにあてはまるもの**3つ（1位～3位）**を、お選びください。

(選択肢)

- | | | |
|-------------|-------------|----------------------|
| 1 大規模な商業施設 | 2 小規模な商業施設 | 3 病院や診療所 |
| 4 公園や広場 | 5 運動・スポーツ施設 | 6 子育て支援施設 |
| 7 高齢者向け福祉施設 | 8 防災拠点となる施設 | 9 地域活動や交流、生涯学習のための施設 |
| 10 文化施設や図書館 | 11 企業への支援施設 | 12 その他（自由記入） |

【参考】旧隅田小学校について

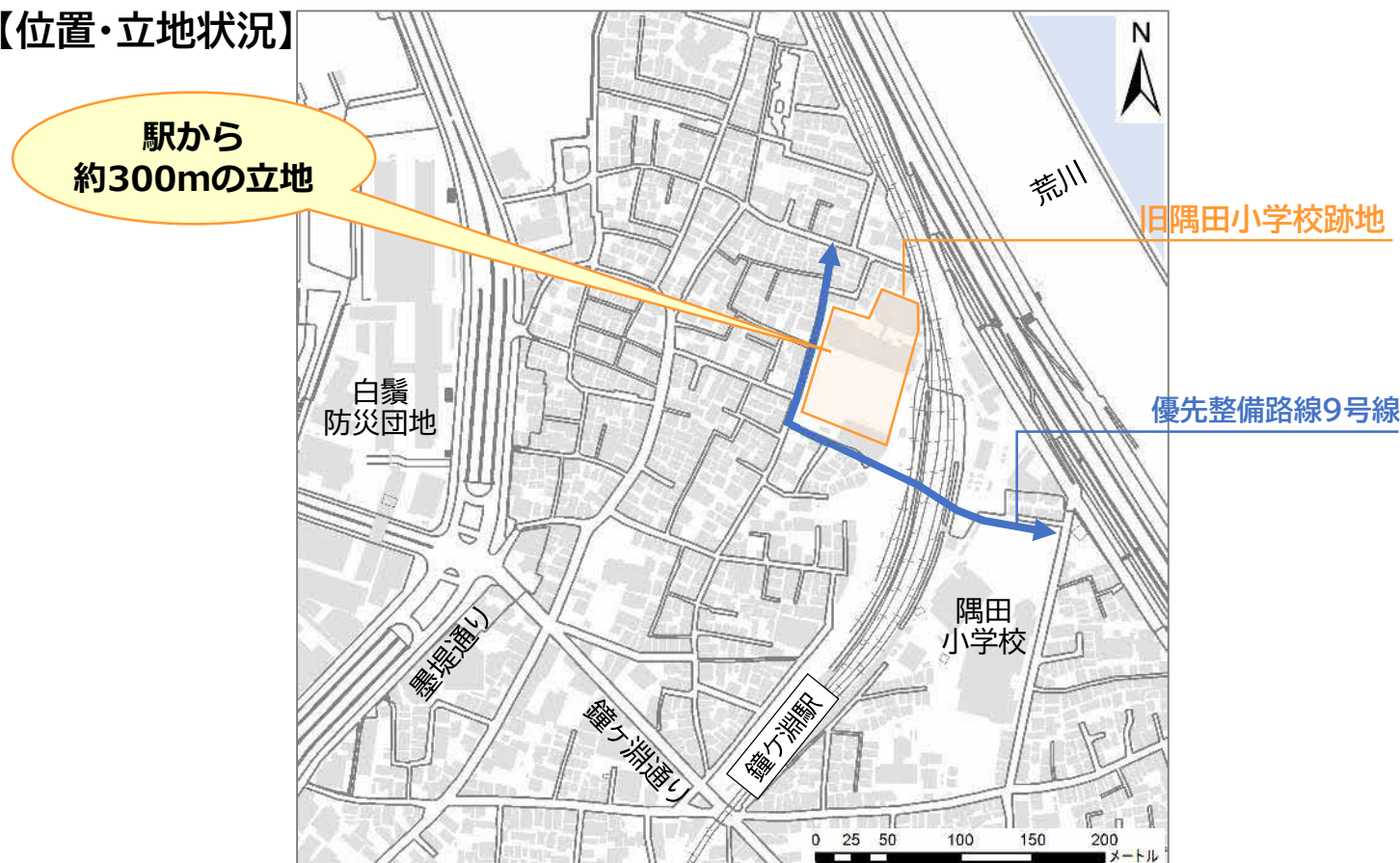
■沿革 明治16年 「公立隅田小学校」として開校
昭和58年 開校100周年記念式典を実施
平成17年 平成17年まで利用され、現在は閉校

■概要

- 校舎は現在使えない状態です。
- 体育館とグラウンドは貸出にて使用することができます。
- 優先整備路線9号線に隣接しています。
※現在は道路用地が地域に開放されています。



【位置・立地状況】



Q.4 都市整備用地（魅力向上ゾーン）の利活用について

都市整備用地（魅力向上ゾーン）は、将来どのように活用されると良いと思いますか。お考えにあてはまるもの**3つ（1位～3位）**を、お選びください。

(選択肢)

- | | | |
|-------------|-------------|----------------------|
| 1 大規模な商業施設 | 2 小規模な商業施設 | 3 病院や診療所 |
| 4 公園や広場 | 5 運動・スポーツ施設 | 6 子育て支援施設 |
| 7 高齢者向け福祉施設 | 8 防災拠点となる施設 | 9 地域活動や交流、生涯学習のための施設 |
| 10 文化施設や図書館 | 11 企業への支援施設 | 12 その他（自由記入） |

【参考】墨田五丁目 都市整備用地について

- 面積：約3.3ha
- 都市整備用地は、都が昭和52年に鐘ヶ淵スチール跡地を購入した公有地です。
- 優先整備路線8号線に隣接しています。
- **防災・スポーツ・教育ゾーン**は、現在、運動広場として活用されています。今後は令和9年度に特別支援学校が開校予定です。（※工事着工は令和6年度予定）
- **防災まちづくり・地域の魅力向上ゾーン**は、現在は運動広場として活用されています。
- **事業用代替地**は、鐘ヶ淵通り拡幅整備事業の代替地として活用されています。



【位置・立地状況】

